

ROTARY INTERNATIONAL 2720



第2720地区

玉名ロータリークラブ週報

2025~2026

よいことのために手を取りあおう

R	I	会	長	フ	ラン	チ	エ	ス	コ	・	ア	レ	ツ	ツ	オ
地	区	ガ	バ	ナ	一	藤	田	千	克	由					
会					長	西	嶋		興						
幹					事	東									
公共	イ	メ	ー	ジ	委	員	浜	田	吾	生					
					長			繁	郎	郎					

例会日 ■ 毎週木曜日 / 12:30~13:30

例会場 ■ 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺50-4 司ロイヤルホテル内

事務局 ■ 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺540-1-102

令和7年9月25日 No.2650

玉名RCメールアドレス jimu@tamanar.club

ホームページアドレス <http://tamanar.club>

【会長の時間】

皆さん、こんにちは。9月のロータリーのテーマは「基本的教育と識字率向上月間」です。世界にはまだ読み書きができない子ども達がおよそ7億人近くいます。その子供たちが質の高い教育を受けられるよう、ロータリーが活動を推進する月になります。昨年深見会長年度にて、福田委員長音頭のもと、睦合小学校と台湾の小学校とのオンライン授業がありました。我が玉名RCから最新のオンライン通信機材を提供いたしました。無事、国をまたいだ国際授業が開催されました。これも9月の月間テーマである「基本的教育」に貢献する活動の一つになりました。

いま日本では高度な教育環境が整っているように見えますが、パソコン・スマホの普及で子どもの読書活字離れ、またAIなどの操作などについて行けないなど、次世代の教育課題がニュースで取り上げられます。でも時代は待ってはくれません。生成AIをどう教育に取り入れるかが先行しています。授業もタブレットを使い始めた自治体も増えてきました。今まさに学びの形が大きく変わろうとしています。

テスト問題作りや、その解答点数付けも先生じゃなくAIがまかなうし、授業カリキュラムもAIが瞬時に提案してくれます。そうなると先生方の時間の余裕は出てくるかもしれません、ある程度生徒たちに説明できるぐらいの、AIスキルを身に着けないと授業が成立しません。

リアルな教育環境においては、2027年に学校単位での放課後の部活動が終了し、民間の運営に移行されます。デジタル面、アナログ面と目まぐるしく変わっていきます。ポケットに入ってるスマホで情報はすぐ手に入りますが、それを正しく理解し、活かしていく力が伴っていない人々が今後増えてきそうです。大人達もついて行くのに必死な時代です。

ロータリークラブは基本的教育というテーマにおいて「米山奨学金制度」など教育への奉仕制度を確立し、その取り組みは昔から大切に行われてきました。地域の子どもたち、また留学される海外の子どもたちの成長を見守り、支援をしていくことが、未来に大きな意味を持つのだと思います。世界にはまだまだ教育を受けられない子供たちがたくさんいます。どんなに技術がデジタル化され進化しても、人が人にリアルに伝える「学び」の大切さは変わらないはずです。

こうした教育に正面から向き合っていく人々に手を差し伸べていく、それがロータリーくらぶの役割だと思っています。

以上、会長の時間を終わります。



ありがとうございました



本日の例会は 深見 直前会長と東幹事で開催されました。
どうぞ宜しくお願い致します。



【幹事報告】

■ガバナーノミニー・デジグネットとして決定

宇土ロータリークラブ作守 順子氏を指名されました。

作守 順子氏をガバナーノミニー・デジグネットとして決定されました。

■地区役員推薦のお願い

お願いしたい役職：各部門委員 期間：2026～2027年度になります。

ご協力の程よろしくお願い致します。

■熊本西RC創立40周年 記念シンポジウム並びに記念式典・祝賀会開催のご案内

開催日：令和7年(2025年)11月30日(日)

開場：ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

登録：13：00～

記念シンポジウム：14：00～15：40

記念式典・祝賀会：16：00～18：00



■例会変更3件

- ・熊本東南ロータリークラブ

10月8日(水)→和歌山東南ロータリークラブ歓迎例会

10月15日(水)→3ロータリークラブ合同ガバナー公式訪問例会

- ・荒尾ロータリークラブ

令和7年10月29日(水) 休会

- ・熊本南ロータリークラブ

10月6日(月) 12：30～

⇒ 10月6日(月) 18：30～「ガバナー公式訪問3RC合同例会」に変更

【60周年実行委員長 本田会員】

例会後に60周年委員長会議を致します。

お時間許す委員長さん達はご参加の程、よろしくお願ひいたします。

【出席委員会報告】

会員数	47 (45) 名
出席数	25名
出席率	55.5%

★吉岡委員 9/25例会

スマイル

前回までの累計 ¥185,000

今回 ¥23,000

合計

¥208,000



熊本グリーンRC
田上 裕章 様

いつもありがとうございます。また、お顔が見れて嬉しいです。宜しくお願ひ致します。

西嶋会長 東幹事 深見会員

田上様のご来訪心から歓迎致します。
松岡会員、急な卓話をお受けいただきありがとうございます。楽しみにしています。

村上会員

一昨日玉名カントリーの「秋分の日杯」のクラブコンペで生涯初の38.38=76のエージシュートを達成する事が出来ました。嬉しいのでWスマイルします。

松岡会員

田上様のご来訪心から歓迎致します。
卓話頑張ります。

久保田会員

ソーリー 仕事でもどります。すみません。

田原会員 中嶋会員

熊本グリーンRC田上様のご来訪心から歓迎致します。
松岡様の卓話ありがとうございます。

松岡会員

横山様・田上様のご来訪心から歓迎致します。
横山IA長の卓話ありがとうございます。

山田(邦)会員 田中会員
山田(勝)会員 本田会員
井上会員 渡邊会員
堀本会員 米倉会員
松本会員 小山会員
鶴田会員 吉岡会員

熊本グリーンRC田上様のご来訪心から歓迎致します。

松岡会員、卓話ありがとうございます。

本日のプログラム 内部卓話 松岡会員 【違いが社会を進歩させる】

本日は、内部卓話で、松岡会員より【違いが社会を進歩させる】というテーマで卓話を頂きました。

発達障害の種類や特徴・特性又、放課後等デイサービスの役割など分かり易くお話を頂きました。

又、有名人にも発達障害を持っている方の例などがあり、認めてもらえる環境(人)があれば...違いではなく強みになる。社会を変えていけるぐらいの進歩できる程の才能を持っている事も多い。

その為にも一人一人の得意な事を見つけて認めて伸ばして行き、違いを認める社会を作って行きましょう！
と心響く熱い口調で話して頂きました。

玉名RCからでも、認めあえる社会を作つて行こうと会員にも響きわたる時間となりました。貴重なお話しをありがとうございました。



「ちがいが社会を進歩させる」

玉名ロータリークラブ内部卓話

Rotary Club of Tamana
Japan



導入



放課後等デイサービスたまなの森

管理者兼児童発達支援管理責任者
松岡 信人

木

Rotary Club of Tamana
Japan

- ・ロータリー歴1年 職業分類は障害児福祉施設
- ・玉名市で事業を開始して10月で9年目
- ・今回のタイトルについて
- ・ちがいは大きな力を生む可能性を秘めている



勉強中です



発達障がいとは



・発達障がいの定義

生まれつき脳の働き方に特性があり、そのために日常生活や学習、社会的な適応に困難を感じやすい状態を指します。

・特性の例

- ASD 強いこだわり、独自の視点
- ADHD 多動性、アイデアが豊富
- OLD 苦手分野はあるが、得意分野では突出

- ・「できないこと」に目を向けるのではなく、「得意をどう活かすか」という視点が大切になる

ちがいが社会を進歩させてきた事例



- 歴史上のイノベーターの多くに「発達障がいの特性」が見られる。

- トマス・エジソン (ADHD傾向：常に新しい発明を追求)
 - アインシュタイン (ASD傾向：独自の思考で相対性理論を発見)
 - スティーブ・ジョブズ (強いこだわりと創造性でAppleを世界企業に)
- スティーブ・ジョブズ (映画監督)
学習障がい（難読症、読み書き障害）を持ちながらも、世界的な映画監督として活躍。
イーロン・マスク (起業家、テスラ、スペースX創業者)
自身が「アスペルガー症候群」であることを公表。独創的な発想と行動力で世界的に注目されています。
ビル・ゲイツ (マイクロソフト創業者)
ADHDとASD傾向があるとされ、集中力と独自の発想で成功を収めた例としてよく紹介されます。
坂本竜馬 (ADHDの可能性)
旺盛な好奇心と、特異なアイデアを持ち味だったとされ、ADHDの特性とも言える行動が見られたと推測されています。
鶴田信長 (アスペルガー症候群の可能性)
革新的な発想や、既存の社会規範に囚われない行動が見られ、アスペルガーコミュニティの共通性が指摘されることがあります。

彼らの「ちがい」は生きづらさでもあったが、それを社会が受け入れ、發揮できる環境があったからこそ革新につながった。

放課後等デイサービスの役割



○子どもへの支援

- ・療育の提供
- ・安心できる居場所づくり



○保護者への支援

- ・レスパイトケア（休息支援）
- ・相談・助言



○地域とのつながり

- ・子どもの社会参加を促す

子どもたちの「ちがい」を受け入れ、自分らしく生きるためのステップとなる。

まとめ



- ・ちがい=弱点ではなく、新しい可能性の源泉。
- ・力を発揮できるかどうかは近くに理解者がいるかどうか。
- ・発達障害を持つ子どもたちが安心して成長できる社会は、多様性を尊重する社会。
- ・日本ではまだまだ、「右向け右」「出る杭は打たれる」
- ・ちがいを認める社会が、未来のイノベーションを生む。



「ちがいを認める社会を
私たちの周囲から作っていきましょう」



本日のお話が、皆様の身近な活動や地域社会の理解につながれば幸いです。

「ちがい」を持った人への接し方等、ご相談があればいつでもどうぞ。



ご静聴ありがとうございました



ありがとうございました